

Vol.14 No.1 '91

1991年11月31日 発行 目次

〈特別講演〉

腸内細菌と消化・吸収5

兵庫医科大学 第4内科 下山 孝

〈シンポジウム〉

消化吸収機能の評価法

消化吸収機能の評価法・消化吸収不良の病態把握と各種検査法の特徴

— 特に慢性膵炎について —20

弘前大学 第3内科 中村光男 他

シュークリーム経口負荷試験の脂肪消化吸収障害相よりみた評価24

山口大学 第2外科 濱中裕一郎 他

逆行性回腸胆汁酸負荷試験による小腸吸収能の評価29

旭川医科大学 第3内科 垂石正樹 他

炎症性腸疾患におけるC₁₃呼气テストの検討(経口亜鉛負荷テストとの検討)34

防衛医科大学校 第2内科 徳永徹二 他

各種腸疾患における小腸粘膜透過性の検討39

東北大学 第3内科 伊藤 薫 他

EIA法による糞便中蛋白(Hemoglobin, Albumin, Transferrin, α_1 -antitrypsin)同時定量の試み43

大阪医科大学 第2内科 松本恒司 他

蛋白漏出性腸症における α_1 -antitrypsinのクリアランス試験の有用性とその腸粘膜内局在48

慶應義塾大学 消化器内科 芹澤 宏 他

炎症性腸疾患における¹¹¹Inトランスフェリンを用いた蛋白漏出量の検討53

東邦大学 第1内科 成木行彦 他

消化吸収機能に及ぼす不攪拌水層の臨床的評価法—電位測定法を用いて—58

滋賀医科大学 第2内科 布施建治 他

〈パネルディスカッション〉

上部消化管手術と消化吸収—胆・膵ならびに内視鏡下の処置等を含む—

内視鏡的乳頭切開術前後の消化吸収62

藤田保健衛生大学 第二病院 内科 山雄健治 他

胃切除後の小腸・膵臓の形態学的・機能的変化と消化吸収障害との間の関連に関する実験的研究66

東京大学 第3外科 沈 秀明 他

拡大郭清膵頭十二指腸切除術後の消化吸収機能71

金沢大学 第2外科 八木雅夫 他

上部消化器切除後の脂肪消化吸收能の経時的推移74

山口大学 第2外科 上野富雄 他

胃部分切除例での吸収不良78

防衛医科大学校 第2内科 金沢雅弘 他

編集理事 奥田邦雄(千葉大学)

編集委員 朝倉 均(慶應義塾大学) 岩崎有良(日本大学) 川島 祐(東京水産大学)

勝 健一(埼玉医科大学) 高橋恒男(山形大学) 中川滋木(日本大学)

馬場忠雄(滋賀医科大学) 福富久之(筑波大学) 村上義次(都立豊島病院)

守田則一(福岡大学) (五十音順)

あとがき

昭和45年第1回研究会が開催され、昭和53(1978)年に赤桃色の創刊号、消化と吸収第1巻が発刊された。以来年1回ごとに発刊されていたが、1985年日本消化吸収学会が発足すると共に第8巻より青い表紙に変貌した。

そうして9巻から11巻までは年1回の出版であったが、1989年より年2回に分冊され現在に至っている。赤の時代から青の時代へ、年1回より年2回の発刊へと少しずつ発展してきているのがうかがえる。ずらりと並んだ雑誌をみていると美しい歴史が感じとられる。特別講演をKey wordとしてみると、消化吸收の測定、小腸生検、脂肪吸収、胃運動、VB₁₂、消化管ホルモン、糖吸収、十二指腸白点症候群、細胞内転送異常、牛乳不耐症、内視鏡的アプローチ、術後障害VE、潰瘍性大腸炎、絨毛膜酵素、腸リンパ系イレウス、神経体液性調節VK、微量金属、薬物吸収などがあげられ、消化吸收の学問の分野の奥深さが感じとられる。

今回は「腸内細菌と消化吸收」の特別講演と消化吸收機能の評価法、上部消化管手技と消化吸收がシンポで論じられた。

学問はますます細分化し、細かい病態のメカニズムに肉薄している。しかしどうもすっきりした理論でまとめあげられていない。

「営々辛辛究めつくしたが昔にくらべて少しも利口になってはおらぬ。世界を奥の奥で統べているもの、それが知りたい。世界のうちに働く力と元素のすべてを見究めたい。」

というファウストのなげきの言葉が聞こえてくる。部分部分を考えることはもとより全体をも俯瞰して大きな視野でものを見てゆくことも大切であろう。消化吸收の病態解明とその研究の発展を期待している。

(H・F)